

松本歯科大学口腔病理学講座では、以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究課題に利用してほしくない」と思われた方は、試料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください。

| | |
|---------------------------------------|--|
| 研究の名称 | 口腔粘膜病変の角化異常に関する分子的・病理学的研究 |
| 研究責任者 | 口腔病理学講座 嶋田勝光 |
| 研究期間 | 2016年9月1日～2021年3月31日 |
| 研究の目的・概要 | 既に確定診断の得られた口腔粘膜病変の試料を病理組織学的手技のみでなく分子病理学的手技にて検討することで、各疾患の病態を明らかにし、病理診断における補助的診断法の確立を目指す研究です。 |
| 利用又は他機関に提供する情報 | 1995年1月1日から2016年8月31日までに松本歯科大学病院理検査室にて診断された以下の試料と情報を利用します。 利用する試料：口腔扁平苔癬、乳頭腫、過角化症、低異型度上皮内異形成、高異型度上皮内異形成、扁平上皮癌および非特異的口内炎の生検材料あるいは手術材料 他機関に提供する試料：白板症（過角化症）、紅板症、口腔扁平苔癬、上皮異形成、上皮内癌、扁平上皮癌、ウィルス感染症、メラニン関連疾患などの口腔粘膜病変の組織、標本等 利用・提供する情報：性別、生年月日、疾病名等 |
| 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供する場合はその方法を含む） | 利用目的及びその方法：上記疾患の試料を選定後、連結可能匿名化し番号を付与し、個人情報の保護を行います。そして、タンパク質の組織内での発現部位について免疫組織学的に検討し、発現パターンを解析します。さらに、mRNAを抽出して組織内および組織各層における発現量を検討します。 他の機関へ提供する方法：共同利用する個人情報等の項目（氏名、性別、年齢、現病歴、既往歴、疾病名）を記載した対応表は試料を採取したそれぞれの施設で保管します。パラフィン包埋ブロックを機関間移動の際は個人情報の連結可能匿名化された番号のみ記載された状態で受渡しを行い、対応表は同封しません。 |
| 試料・情報を利用する者の範囲 | 松本歯科大学歯学部 ・口腔病理学講座 嶋田勝光 ・口腔病理学講座 落合隆永 ・口腔病理学講座 長谷川博雅 |

| | |
|-------|---|
| | 愛知学院大学歯学部 ・口腔病理学講座 吉田和加 ・口腔病理学講座 前田初彦 |
| 問合わせ先 | 松本歯科大学 口腔病理学講座 嶋田勝光 電話：0263-51-2093 |